

かみっこ

合い言葉は
「自ら考える」

令和5年4月11日

自ら考える

校長 平澤啓介

4月7日、40名の新入生を迎え、全校児童262名が新たなスタートを切りました。期待に胸を膨らませ、真剣なまなざしで始業式、入学式に臨んでいる子どもたちの姿に感心しました。よりよくなろう、伸びようとする子どもたちを健やかに育むために、全職員で精一杯取り組んでいきます。

今年も、神岡小学校の合い言葉は「自ら考える」です。未来を創る子どもたちが、これまで経験したことのない状況になっても、自分でよりよい方法を考えて、仲間とともに、たくましく生きてほしいとの願いを込めています。

この合い言葉を目指すために、まずは、子ども自身が願いをもつことを大切にしたいと考えています。自らの願いがあれば、活動への意欲が出てきます。そして、やり遂げた自信が原動力となり、次の活動へとつながります。たとえ、上手くできなくても、粘り強く取り組むようになります。学校では、子どもが願いをもてるように「あなたは どうしたいの?」と問いかけながら、「自ら考える」姿を目指した取り組みを続けていきます。

また、子どもたちの新しい自分への挑戦を応援したいと考えています。新しい自分への挑戦が、自分や仲間の成長につながります。もちろん、初めから上手くいかないこともありますが、挑戦し続ける子どもたちのよさや持ち味を認め、励ましていきたいと思えます。

土日の「わくわく夢学習」は「自分学習」と改め、今年も引き続き取り組みます。この学習では、担任が与えた漢字や計算、読書などの「宿題」ではなく、自分に必要な学習内容を一覧から選んだり、自分で考えたりして学習に取り組みます。そのなかで、自分が興味のあることや自分の夢や将来につながることに、主体的に取り組んでほしいと考えています。そして、生涯にわたって、自ら考えて学び続ける子の育成を目指していきます。本年度も、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

4月1日からのマスク着用は、個人の判断によることになりました。学校では、マスク着用を希望する児童、希望しない児童のどちらにも配慮し、差別や偏見につながらないように指導します。感染症の分類が変更される5月までは、これまでの感染対策を継続しつつ教育活動を進めていきます。何かご心配などありましたらご連絡ください。

- ①健康チェックカードによる健康観察を継続します。
- ②気になる症状がある場合は無理せず休養してください。
- ③手洗いや換気などの感染症対策を継続します。
- ④感染したり濃厚接触になったりした場合は、これまで通り自宅待機となります。